

令和4年度 鹿児島市小・中連携研修会（城西ブロック）

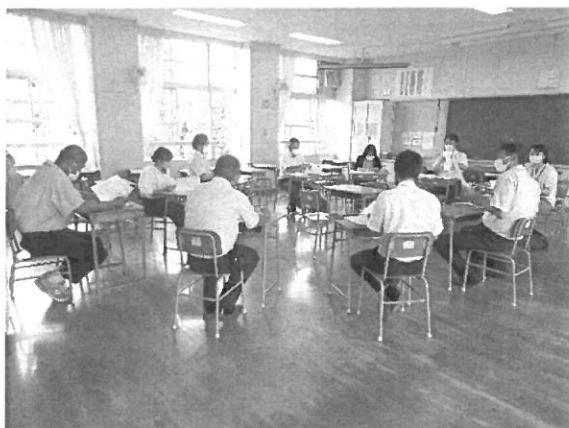
分科会報告

研究主題

確かな学力と豊かな心を育てる小・中連携の在り方

分科会

- 第1分科会 「確かな学力の向上」
- 第2分科会 「生徒指導の充実」
- 第3分科会 「小・中学校の円滑な接続」
- 第4分科会 「働き方改革・業務改善」



令和4年度6月17日（金）

鹿児島市立原良小学校

第1分科会 「学力向上」(ICTの活用について)

- オンライン授業の現状について
発信側の準備として
 - ・校務用PCにカメラをつけて配信用, 教師用タブレットで児童への提示用とする
 - ・教師用タブレットで配信し, 教室でのデジタル教科書等の提示はしない。
 - ・個人のスマホや予備のタブレットを使って配信する。
 - ・予備のタブレットで配信し, 教室の後方の棚に固定する。
 - ・動画で撮ったものを児童に配信する。

- タブレット端末の持ち帰りについて
(西田小)6年生が毎週火曜日にタブレットを持ち帰って, 宿題をしている。
内容:家庭科「クリーン大作戦」の実践の前後や道具を写真で送る。
自分の歯を写真に撮る。共有しない。など
(中山小)毎日タブレットを持ち帰って, 宿題があるらしい。
家で充電する。
※ 長期休みの持ち帰りは, どこも検討していない。

- 研修について
研修時間の確保が必要である。
ニーズに合わせて, 自主研修の形で企画・実施し, スキルアップを図っている。
小中連携もオンラインでできる部分はしてもよいのではないか。

- 情報共有について
城西地区などで teams などのグループを作って活用していくことができればよいのではない
か。
iPad などの情報端末の使い方, ルールや不具合など情報を共有できる場があるとよい。

- 学びポケットの活用について
今年度, 研修が必要ではないか。
NHK for school・eboard・メクビットが使える。

- タブレット端末活用のルール
原良小のみ昼休みなどに自由に使える。
他3校は授業でのみ使っている。
情報モラルの育成に重きを置く。

第2分科会 生徒指導の充実

実践報告

- 原良小学校・・・生徒に関する共通理解の時間の設定がある
- 城西中学校・・・縦割り掃除の実施で取組の改善
人間関係づくり，問題解決を自分でしていく力が課題
- 草牟田小学校・・・運動会に向けてがんばり，6月にトラブルが増，登校しぶりが増
組織的な対応 自己肯定感を高める取り組み
あいさつが不十分 児童主体の活動を強化
- 西田小学校・・・学校外でのトラブルが多い あいさつはよくなってきている
「学校たのしいと」の活用の研修を行う

質疑応答

- 1 あいさつについて
西田小はよくなってきているが，他の学校の児童生徒はあいさつについて，自分から進んでする傾向にはまだない。
- 2 インターネット等の使用状況について
ネットトラブルが少なくなっているのか，教師側がわからなくなっているだけなのか。LINEトラブルも見えないところ。
- 3 声かけ事案等情報共有
小中連携の中，事案が発生したら，各学校へ情報を共有する。
- 4 4校共通実践事項
 - 職員が児童生徒の実態を知る。
 - 対処法を教える。
 - あいさつを高学年から下学年へお手本を見せていく。
 - コロナ禍でも，マスクをつけた状態でしっかりあいさつや会釈をしていく。

指導助言

- 職員の組織力が重要
- 小中の先生方の連携…小学校の問題，中学校の問題と分けずに，一緒に考えて解決していく。
- 9年間，もしくは，18歳の時の児童生徒を見据えて，子どもたちを育てていく。
- ネットトラブルは少なくなっているのではなく，見えなくなっている。
- ネットトラブルは家庭の問題だが，いじめに発展した場合，初期対応をしっかり行う。

第3分科会「小中学校の円滑な接続」（特別支援教育の充実）

1 文科省からの通知について

- 「特別支援学級で学習する時数は、週15時間を基準とする」という内容の通知（5月6日付け）が、今後の就学指導にどのように影響するのか懸念される。特に、自閉症・情緒障害特別支援学級に入級することを保護者や児童が躊躇してしまうと、通常の学級に、支援対象児が増えてしまう可能性がある。
- 西田小では、通知について、1学期中に保護者に説明する予定である。
- 市教委や管理職、特別支援学級担任で、通知文の内容をしっかりと確認したうえで保護者にも説明をする。時数で一律に線引きするのではなく、児童一人一人にとって本当に望ましい交流学习を行っていくことが大切である。今後の研修会等での説明を受けて、丁寧に対応していきたい。

2 中学校卒業後の進路・不登校傾向のある生徒への対応について

- 城西中の知的障害特別支援学級を卒業した生徒の進学先について中学校から報告があった。
- 私立高校に入学する生徒もいるが、高等特別支援学校・養護学校と同じような支援が受けられるとは限らない。そこを保護者にしっかりと伝え、進路選択してもらっている。保護者は「高卒」への思いが強い場合もある。
- 通常の学級籍で教室に入れない生徒は、フレンドシップを利用するケースもある。市内4校に設置してある。どの学校を利用するかは柔軟に決められ、利用した日は登校扱いになる。

3 特別支援学級についての保護者への啓発

- 知的障害特別支援学級に入級する際、「学習の遅れを取り戻す学級」「個別指導をしてもらえる学級」と保護者が認識してしまわないように配慮することが大切である。知的障害特別支援学級は、日常生活を送る上で、学習以外にも支援を要する児童が対象である。
- 知的障害特別支援学級の中に、「通常の学級の教育課程と同じように学習をさせたい」「〇〇高校に合格させたい」という思いが強すぎる保護者がいる。知的障害特別支援学級は、当該学年の教育課程通りに学習することが絶対ではなく、児童一人一人に合わせて教育課程を考えていく学級である。時間をかけて保護者に伝え続けていくことが大切である。
- 特別支援学級への理解を深めてもらえるよう、入学説明会・PTA・PTA 総会等で啓発資料を配布している。各学校で様々な工夫をしている。

4 各学校における現状と課題について

- 通常の学級の中に、授業中に教室を飛び出してしまう児童が複数いる。その児童への対応が支援員の仕事になってしまい、ほかに支援を必要としている児童への支援が追い付かない学校もある。

5 市特別支援教育審議会の判断結果について

- 市教委から保護者への通知は文書で直接行ってほしい。学校（担任）が判断結果を保護者に伝える際、文書を見せてはいけないことになっているため、担任はどのように伝えてよいのか分からず困っている。今後、管理職・コーディネーターなどそれぞれの立場から市教委に要望していく。

6 幼保小の連携について

- 1年生の通常の学級の中に支援を要する児童が多い。入学前に市就学相談を受けていない児童も多い。幼稚園や保育園の先生方と、小学校の職員の認識が異なるケースもある。小学校と幼稚園・保育園が入学後も連携を取り続けることが大切である。幼稚園や保育園に、市就学相談への積極的な申込を啓発していきたい。

第4分科会 働き方改革・業務改善

実践報告

原良小学校・・・通知表の改善（単元別評価なし・総合，外国語の文章評価は年1回）

城西中学校・・・ネットによるシステム改善 欠席・遅刻連絡（朝の業務改善）

（安心安全メールのもの）

GoogleformやMicrosoftfoamを使った各種アンケートの実施を試みているが，生徒の集計に対しては問題が残る。（半分しか返信がない）今後改善していく。

通知表の総合の評定は2・3学期

草牟田小学校・・・水・金は定時退庁日（掃除カット）

校舎を開ける時間は7時30分

西田小学校・・・校舎を開ける時間は7時45分

通知表の道徳の評価（文章）を学年1回にするが保護者への丁寧な説明が必要

質疑応答・協議

1 通知表について

城西中も道徳の評価（文章）を検討

2 城西中のチーム担任制について

2・3年生 生徒指導で担任だけが抱えなくてもよい，生徒を複数の目で見ることができるといふ利点⇒小学校でもできないか・・・職員数から難しいのでは。

3 予備時数について

どこの学校も大体同じくらい。高学年が厳しい傾向に。西田小は土曜授業の週は水曜日を5時間授業にして負担を軽くしている。

4 土曜授業や4月の新学期準備の多忙感を何とかできないか。

5 スクール・サポート・スタッフの活用…原良小のみ 後の3校はいない。

指導助言

○ 管理職⇒業務改善を進めていかないといけない。

○ 世の中を変えていくのは，社会が許さない部分もあって難しい。

世の中⇒教師が楽をすることを許さない雰囲気。教師が楽をするために業務改善をしているのでは，と考えている。ゆっくりでも納得してもらう。

○ 学校を何時に開けるか…子供が早く学校に行ってほしい保護者⇒ここをどうするのか。

○ 業務改善の目的は教育の質の維持と向上

○ 今日この日ががんばれば明日楽になるために，今日遅くまでがんばることもあってよい。

令和4年度 市小・中連携研修会（城西ブロック）アンケート結果

2022. 6. 17 (金)
小学校 (22) 人 中学校 (6) 人

日程について

- よい (10人)
- 特になし (5人)
- 校内を見て回る時間があってよかった。
- 授業参観は自由でよかった。
- 5校時は終了後にでることができてよかった。
- 授業参観ができなかったが、強制ではなかったので、日程にゆとりができた。
- 授業参観が強制ではなかったので、来やすかった。
- 20分間の授業参観は必要か。参観から分科会まで30分の間がある。分科会からのスタートでよいのでは？
- 授業の関係で分科会からの参加となりましたが、児童が正門前に大勢いて、車の進入が難しかったです。誘導を増やしていただきたいです。開催の時期としては、中1の生徒も中学校生活に慣れ、問題も発生する頃なのでよいと思います。
- できるだけ、授業参観から参加できるようにしたい。
- 授業参観から買いが始まるまで30分は長い気がした。
- 授業を見る時間がなかった。

内容について

- 四校共通実践事項が確認できてよかった。情報モラルでは、新しいツールに対応する研修が必要だと思う。また、コロナ禍でのあいさつの仕方、頭を下げるだけでいいので、社会性を身に着けること、実践していきたい。
- 今年は分科会が一つ増え、新たな話し合いができてよかったと思う。毎年、何か違うテーマがあってもいいのでは？
- 活発な意見交換ができてよかった。
- ほかの学校の情報がわかった良かった。
- よい (3)
- いろいろな情報を聞くことができてよかった。他校も業務改善を進めていることがわかりよかった。
- 教務としての業務改善か、管理職としての業務改善かが少し区別しにくい所があったので、例えば、①校時について、②事務作業についてなどの項目があってもよかったと思う。
- 各学校の実態などじっくり話を聞けて良かった。
- 多岐にわたった内容が出て、研修になった。
- 特になし (3)

分科会について

<第1分科会 確かな学力の向上：ICT活用について>

- 詳しい人が多くてよかった。
- 小学校のICT活用の現状がよく分かったので、中学校でもどう活用していくか参考になった。ハード面での課題を改善してもらえない限りは、工夫をいくらしても活用できない面もある。
- 情報教育について各校の現状を聞くことができた。ipadの活用など、各校で工夫していたり、課題もあったりして、共有できる良い機会となった。
- 普段は、ほかの学校の状況を知ることができないので、いい機会となった。

- ・ 参加してとても学習になったが、内容が明確だったので、情報の係が参加したらよかった。
- ・ 各校の現状がよく分かった。参考になった。

<第2分科会 生徒指導の充実>

- ・ 他校の現状や取り組みなどを交流することができてよかった。
- ・ 4校共通の実践事項について、色々話を聞いたり、今後のことについて話ができたりしたことはよかった。各校の様子を聞いたこともよかった。
- ・ 各学校の現状を知り、情報共有するいい機会だと思う。
- ・ 小学校の現状を詳しく聞くことができ、中学校として今後の指導につなげていきたいと感じました。小中の連携を図ることにより、9年間を通して、生徒たちを指導することができると思いました。
- ・ いろいろな意見交換ができてよかった。
- ・ 分科会の中で、小学校の現状・中学校の現状、共通理解することができ有意義だった。小学校で多くの声掛け事案が発生していることは知らなかった。これを連絡し合うことは、大変大事なことだと思う。ぜひ、情報の共有化をしていきたい。

<第3分科会 小・中の円滑な接続：特別支援教育の充実>

- ・ 分科会で意見交換ができた。充実していた。
- ・ 各学校の課題を話したり、情報交換の時間をとったりできたのがよかった。
- ・ 各学校の悩みなどを話す時間を多くとってほしい。
- ・ 専門的な内容の情報の交換がよい研修となった。
- ・ たくさんの情報

<第4分科会 働き方改革・業務改善>

- ・ 新しい分科会で少人数だったので、話しやすかった。
- ・ 各校の情報交換ができた。特に校時表や欠席連絡メールのことについては、本校でも参考にしたい。
- ・ 各学校の取り組みが効けて、とても参考になった。担任が一人で抱え込むことがないようないい案も聞いた。これから生かしていきたい。
- ・ 校長先生の話がよかった。
- ・ 校種のちがう小学校の話も聞いて参考になりました。
- ・ それぞれの学校でも、業務改善を率先して行っているということがよくわかりました。本校でも取り入れていきたいです。
- ・ 本校も今年大きく変えたところだったので、他校の様子を知ることができてよかった。
- ・ 業務改善について話し合えるのはよいと思った。

その他 (次年度への要望等)

- ・ また、ちがったレベルの出の話ができるような環境になっているとよい。
- ・ アンケートをフォームにする。オンライン開催も検討する。
- ・ teamsなどで、小中連携用の分科会ごとのグループを作っていくことで、継続的な取り組みも可能になると思う。来年度に向け、検討してほしい。
- ・ コロナ禍なので仕方ないのかもしれないが、互いの授業を見たり、教科ごとに意見交換ができたりするせっかくの好機ともとらえると、もう少し人数を多くして開けるとよい。
- ・ 今後も細かな情報共有をお願いします。
- ・ 会が必要であれば開くし、必要を感じなければなくてもよいのでは？
- ・ 来年度もあるといいですね。
- ・ 第4分科会は必要か？
- ・ 業務改善については、来年度もあった方がよい。
- ・ 今回話し合ってみて、改善できた点などがあれば、来年度紹介していただけるとありがたいです。